

PFASと特定PFASについて フッ素化合物の規制に関する情報

AGCコーテック株式会社

塗料事業部

PFASとは、炭素とフッ素の原子を持つ化学物質

(**ペルフルオロアルキル化合物またはポリフルオロアルキル化合物**) フッ素化合物の総称です。

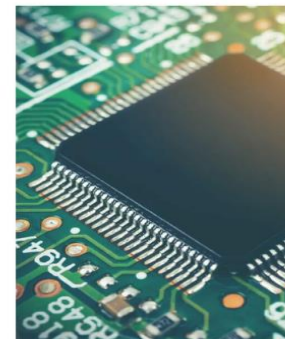
■特徴

薬品に強い、燃えにくい、電気を通さないなど多くの特徴を持つPFASは、暮らしや産業の様々な場面で活用されています。



「**PFAS**」とは？

種類と用途、規制などについて



PFASには非常に多くの種類があり、その種類によって性質が違います。

米国環境保護庁によると約12,000種類ものPFASがあるとされています。

PFASのなかで、**PFOS、PFOA、PFHxS**の3種類は、自然や人体の中で分解されにくい、体外に排出されにくい、健康に悪影響を与えやすいといった性質が指摘されています。

PFOSとPFOAは日本国内での製造や使用が既に禁止されており、PFHxSは近日中に禁止される見込みです。

これら3種のPFASは、日本フルオロケミカルプロダクト協議会において「**特定PFAS**」と定義されています。

一部の報道などで“PFAS汚染”という言葉を目にすると思いますが、正確には「特定PFAS」による汚染を指しています。

特定PFAS 使用が禁止されている3物質

特定PFAS
(PFOS、PFOA、PFHxS)

3 種類

=

全PFAS

約 **12,000** 種類



国連の法令 POPs条約

- 2009年より PFOSを規制
- 2019年より PFOAを規制
- 2021年より PFHxSを規制



日本国内の法令 化審法

- 2010年より PFOSを規制
- 2021年より PFOAを規制
- PFHxSの規制については
規制の内容などを検討中

フッ素の特徴

熱に強い、薬品や溶剤に侵されにくい
水や油をはじく、滑りやすいといった優れた
特性を発揮します。

これらの特性を活かして、アイロンやフライパンや歯磨き粉といった家庭用品から、半導体では、基板となる材料に回路を焼き付けるためのフォトレジスト（感光材）、リチウムイオン電池ではプラス極・マイナス極を分ける材料（セパレーター）などで、なくてはならないものとして活用されています。



フッ素の主な用途と分野と製品例

分野	製品例
建築/インフラ	塗料（ ボンフロン 、他）、発泡剤、空調用冷媒、膜構造物（スタジアム、大規模商業施設等）
医療（医療機器/医薬品）	医療部材（血液バッグ、人工血管、カテーテル等）、薬包フィルム、保護衣／保護具、医薬品
輸送（自動車／航空機／鉄道）	ベアリング／ガスケット／シール材、電線被覆材、配管／ホース、空調用冷媒
電子・電機・通信	電線被覆材、塗料コーティング、プリント基板、液晶材料
半導体	薬液配管／洗浄部材、エッチング用途、高性能フィルター、製造部材（ペリクル、層間断縁膜等）
エネルギー	太陽光発電（モジュールの表面保護材）、リチウムイオン電池（正極バインダー樹脂、ガスケット用フッ素樹脂）

AGCは、「特定PFAS」3種のうち、過去にPFOSやPFHxSについては製造を行っておりません。

日本国内で2021年から使用が禁止されたPFOAの製造・販売は条約や国内の法令による規制に先立ち、2015年に終了しています。

AGCグループは企業の社会的責任を果たすため、科学的根拠に基づき、事業活動で生じる環境負荷の最小化と製品を通じた環境影響の抑制に向け、取り組んでいます。

これからもお客様や社会にとって不可欠なフッ素製品をAGCは責任をもって提供し続け、世界中の人々の暮らしを支えていきます。

塗料の主原料であるフッ素樹脂『ルミフロン』において、AGCコーテック(株)では、塗料製造時ボンフロン、ルミステージには特定PFASの3種『**PFOS、PFOA、PFHxS**』は使用していません。



書面作成対応致します！

PFASに関する報道を受け、
フッ素 = 有害
フッ素 = 人体に悪影響を及ぼす

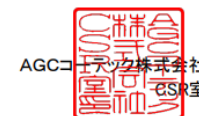
ボンフロン、ルミステージを安心して
ご提案頂く為に、特定PFAS不使用
の書面作成を行ってます。

関係社外秘

2024年2月15日

会社名

PFOS、PFOA、PFHxSに関する証明書



AGCコートテック株式会社 CSR室
東京都千代田区神田錦町2丁目9番地
コンフォール安田ビル5F
TEL 03-5217-5104
FAX 03-5280-0028

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別の御引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、弊社の以下対象製品には調査物質の意図的な使用はないことを証明いたします。
※現時点における原材料情報に基づき意図的な含有がないことを意味するものといたします。

記

* 調査物質

ペルフルオロオクタン酸(PFOA)とその塩及びPFOA関連物質
ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)とその塩及びPFOS類縁化合物
ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)とその塩及びPFHxS関連物質

* 調査対象製品

ルミステージ弱溶剤GT

以上

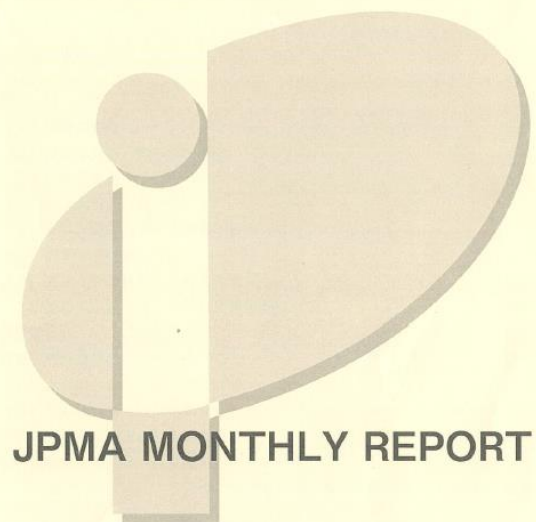
AGCグループPFAS規制動向に伴う解説サイト

■リンク

「PFAS」とは？種類と用途、規制などについて | AGC

日塗工月報

2024年1月号



一般社団法人日本塗料工業会
JAPAN PAINT MANUFACTURERS ASSOCIATION

P10

②PFASの規制動向

PFAS パブコメ提出状況は、日本からの提出が全体の約20%であった。

PFAS 規制には基本反対の意見である。

現時点でパブコメは終了し、今後のパブコメに対する回答があるので、注目することをお願いした。

パブリックコメントとは

規制の設定又は改廃等にあたり、政省令等の案を公表し、この案に対して国民のみなさまから提出していただいたご意見・情報を考慮して意思決定を行う手続です。

提出されたパブコメ件数は5,642件とこれまでで最も多かったマイクロプラスティックスの477件をはるかに上回り、文書の枚数も10万ページを超える。

また制限案の範囲が広く複雑である。

